

令和2年度 さいたま市立馬宮西小学校 自己評価書

校長 赤木伸年

1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 確かな学力の定着を図るために、基礎基本の徹底と個に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。
一教材・教具を工夫し分かりやすい授業の展開
- (2) いじめ、不登校のゼロを目指し、愛があふれる教育を推進する。教職員と子ども、保護者・地域がチームワークを向上し、協調・協働できる人間関係を構築していく。
一いじめの未然防止を行い、教育相談体制の充実
- (3) 健康・安全教育を充実し、学校行事の見直しを図りながら新型コロナウイルス感染症感染防止に対する迅速・適切な対応を行う。
一児童にとって分かりやすい健康・安全教育の展開とともに学校の取組を保護者や地域に適切な発信及び情報共有の推進
- (4) 教職員が学校業務について見直しを図り、業務の効率化や精選によって、時間外の在校時間を削減する。
一学校における働き方改革

2 評価結果について

- (1) 「学習環境の整備・改善がよく図られている」という項目では教職員は肯定的な意見が94%、保護者では95%の高い評価を得ることができた。また、「児童が分かりやすいように教え方や、教材・教具を工夫した授業を行っている」という項目では教職員で71%であるが、保護者は91%の肯定的評価を得ることができた。教職員は授業力を高め、学力を定着させようとする意欲の表れといえる。本校は指導形態を工夫し、算数は全学年T・Tとしきめ細かい指導を実践している。今後も学校全体での指導力の向上を図る。
- (2) 「いじめの未然防止に努め、いじめを見逃さない指導を適切に行っている」の項目で教職員93%、保護者で88%の肯定的評価を得た。今年度は新型コロナウイルス感染症等が大きな問題となり、新たないじめの芽に対する指導も実施した。今後もいじめは絶対に許さないという信念のもと、SC、SSW、さわやか相談員、教育相談所など他機関とも連携し、学校全体で取り組んでいく。
- (3) 健康診断の実施や健康指導、安全指導（防犯、防災、交通安全）についての項目では教職員及び保護者ともに94%以上の肯定的評価を得ることができた。また、今年度は特に新型コロナウイルス感染症感染防止の取組について迅速に保護者や地域へ周知することを意識して行った。次年度以降も継続が求められ、学校と家庭、地域が互いに意思疎通を図りながら連携して取り組んでいく必要がある。
- (4) 土曜授業日に関わる割振り取得を計画的に行ったり、PTA活動に教職員が行っていた業務を担ってもらったりするなど、円滑な学校運営や業務削減に努めた。時間外の在校時間が45時間以上の超過勤務職員については個別の面談を通して、業務改善に努めるように声掛けを行った。その結果、個人でノー残業デーを設定したり勤務時間以降の在校について一人ひとりの教職員の意識を高めたりすることが出来つつある。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

本校は全学年単一学級の小規模校であるので校内研修の充実を図り、一人ひとりの教師力を向上させ、児童の実態に合わせた充実した教育活動の展開に取り組んでいく。また、児童一人ひとりのニーズに応えられるために、GIGAスクールの推進に努める。